

私は昭和七年四月に長谷尋常高等小学校に入學しました。兄姉がいたので学校には少しはなれておりましたが、母に連れられ校門に入ると皆なが集まって来て一寸恥かしい思いでした。一年生は五十三名くらいだったと思います。担任の良藤先生に連れられ式場に行きました。校長先生より「今日からは皆さんはこの学校の一年生ですよ、明日からはお兄さんお姉さんと元氣を出して来て下さい」とニコニコしながら言われました。式が終り先生に連れられ教室に入り、明日から持つて来る物などの注意を受けました。

その頃の校舎は木造瓦屋根の二階建て南向きに建っていました。儀式の時には六年、高等一、二年の教室の間の板戸を取り外して早変りの式場にします。又、二階の東畳の間は補習科の裁縫教室で障子が立っていました。校庭の東には奉安殿と忠魂碑があり運動会や諸行事の時は国旗掲揚をします。裏庭には大きな水タンクと池があり、アヒルが泳いでいました。岩間から出

る水は大変おいしかったです。中庭には物置と湯沸場があり、大きな竈を作つてあつて、茶の加工をした事もあります。冬には薪を持参しお湯を沸してもらい掃除の時には当番の人がもらつて来ます。皆な冷たくなつた手を暖めたものでした。

当時の服装は男子は服で、女子は着物。履物は藁草履雨の日は下駄。ズックを履いている人は少なかつたが、高等科の頃にはセーラー服にズックと変りました。

次に勉強ですが、一年の時は石筆で石板に書いていました。読み方は「ハナ、ハト、マメ、マス」でしたが私達で最後となりました。又、作業及び行事としては高学年は田植え、取り入れまでしました。また学校林の下草刈りで蜂にさされたことなどありました。秋は野菜栽培に下肥をかついで手入れをし、夏の出校日に大根種子をもらつて家で作り品評会に出品し楽しんでました。勿論工作、書き方その外数多く展示してました。校内運動会が終ると、井田

郷運動会があり、長谷・犬飼・井田・柴原の四校が井田小学校に集り競つたものでした。遠足は梅干しの入つたおにぎりを竹の皮に包んで風呂敷に包み、水の元に登ると、三ノ岳の婦人会の方々から米湯を頂いたあの味は忘れません。又、冬の木枯しの吹く金曜日朝いつもより早く行き勤労作業です。校庭に筵を敷き、四年生以上だつたと思います。其の上で男子は藁工作、高等科の人は竹工作で、女子は運針、ぞうきんなどで凍える手をもみながら縫いました。日支事変の頃で昭和十三年には黒松の天ヶ瀬の上の山を開墾し、甘藷を植えたものでした。また出征兵士の家に勤勞奉仕に行き稲刈り、麦刈りなどしたものでした。

恩師の顔を偲び懐しく思われます。今は時代も変り、昔の面影は前の石垣と桜の木だけが残り、今は立派な校舎と新しい体育館が出来、すばらしい発展だと思えます。我が長谷小学校がいつまでもいつまでも伸びゆくよう、お祈りしながら筆をおきます。